

職務経歴書

2024年11月1日現在

松川 周平

[Github](#)

■キャリアサマリ

大学卒業後、2017年4月に機械エンジニアとして製鉄会社へ入社。2018年4月にITエンジニアとして、株式会社日立製作所へ転職し、クレジットカード会社の決済システム更改PJに要件定義からリリースまで従事しました。オンプレミスであったためハードウェアレベルのインフラレイヤからアプリレイヤまで、幅広い技術スタックに触れることができました。また、SLAが非常に高いシステムに対するデリバリー・プロジェクト推進を経験することができました。

2020年7月にアクセンチュアへ転職し、2021年12月まで通信事業会社のシステム開発に携わり、パブリッククラウドを用いたID管理システムやマイクロサービス開発基盤の構築に従事しました。この期間でクラウドに関する知識・実装力を深めました。2022月1月からAI/MLの組織に社内トランスファーし、通信事業会社向けの機械学習を用いた回線契約の解約予兆やクロスセルを実施する分析基盤の開発・運用に携わりました。

直近は電力会社向けの生成AIを用いた営業活動高度化PJにチームリードとして従事しており、リードとしてクライアントフェイシング/チームマネジメントを実施し、またプレイヤーとしてもインフラからアプリまでフルスタックに設計/開発しています。

■職務経歴

※直近の職務経歴のみ詳細を記載しています
※技術スタックについては後述のスキルサマリでまとめています

経歴① 2020/07-現在 アクセンチュア株式会社 正社員

- 【事業内容】 ITコンサルティング
- 【売上高】 （日本のみの売上高は非公表）
- 【従業員数】 25,000名
- 【部署】 Technology IES（2020/7/-2021/12） → S&C AI-AI（2022/1/-現在）

2023/10-現在	1. 電力会社向け 生成AIを用いた法人営業高度化PoC施策
■プロジェクト概要	<div>【概要】</div> <div>・ 社内営業支援ツール(SFA)の情報や社外の顧客情報(有価証券証券報告書など)をインプットに下記機能を提供し営業の高度化を図る生成AIアプリケーションのPoCプロジェクト</div> <div>・ また、本PoC施策以外にも様々な生成AIPoC施策を実施しており、それらを横断的に開発/運用するためのスキーム・アーキテクチャの検討</div> <div>【機能】</div> <div>バッチ:</div> <div><div>- ニーズや解約予兆の分析（機械学習と生成AIの併用）</div><div>- 営業の商談構成や商談スライド、想定問答の生成</div></div> <div>リアルタイム:</div> <div><div>- 生成AIを仮想顧客とした想定問答</div><div>- QAチャットボット</div></div>
■役割	チームリード/フルスタックエンジニア
■参画フェーズ	PoC/トライアル
■技術スタック	<div>【クラウド】</div> <div>AWS（ECS/ECR/S3/Cfn/ECR/Codexxx/SageMaker/BedRock/EventBridge/ALB/ASG）</div> <div>Azure（OpenAI Service/AI Search）</div> <div>【その他】</div> <div>Tableau/SFA(Dynamics 365)/Python/LangChain</div>
■システム規模	<div>【環境】 2面（PoC/トライアル）</div> <div>【構成要素】 技術スタック記載のとおり</div>

■プロジェクト規模	コンサルチーム：5名、エンジニアチーム：8名（他の生成AI施策を含めると計30名程度）
■職務内容	<p>【PoC企画フェーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状の法人営業の課題洗い出しおよび生成AI、AI/MLを用いた対応策・中長期ロードマップの策定 ・利用データの調査(データマネジメント策定) ・PoCアーキテクチャの設計 <p>【PoC実行フェーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エンジニアチームのマネジメント ・開発リーディング <p>【トライアル企画フェーズ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トライアル/本番アーキテクチャの設計 ・他施策横断のアーキテクチャの検討
■実績	<ul style="list-style-type: none"> ・PoC企画フェーズでは、クライアントのマネージャ・担当者と密にヒアリングを実施し、現状の課題を洗い出し、生成AI・AL/MLを用いた対応策および中長期ロードマップの策定を実施した。特にデータ側面からのヒアリングに注力し、現状利用しているデータ・活用できそうなデータ・これから蓄積すべきデータを整理し中長期ロードマップの詳細化に貢献した。 ・PoC実施フェーズでは、エンジニアチームのマネジメントおよび開発リードを担当。PoCのBFC・SFCの定義から設計・開発・テスト工程の管理を行い、2ヶ月ごとの検証 x 3スプリントの計6か月という過密スケジュールのなか遅延なく推進した。 ・トライアル企画フェーズでは、PoC実施フェーズで経験したLLMシステムの開発/運用の困難さ・評価の困難さやクライアントの環境制約を考慮し、より効率的に開発/運用するためのスキーム・アーキテクチャの検討している。

2022/10-2023/9	2. 通信事業会社向け 法人営業の分析基盤システム開発
■プロジェクト概要	・法人向けの回線契約の解約予兆やクロスセルを機械学習により予測し、営業の高度化を図るプロジェクト
■役割	サブリード/インフラエンジニア/データエンジニア
■参画フェーズ	開発/運用
■技術スタック	<p>【クラウド】AWS(EKS/EMR/S3/Cfn/ECR/Codexxx/SageMaker/EventBridge/ALB/ASG)</p> <p>【その他】Airflow/Spark/Python</p>
■システム規模	<p>【環境】3面（Production/Staging/Develop）</p> <p>【構成要素】技術スタック記載のとおり</p>
■プロジェクト規模	PM/PMOチーム：4名、インフラ/データチーム：8-10名、MLチーム：8-10名
■職務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルの刷新、ETL処理の改善、MLパイプラインの高度化 ・モデルの精度検証
■実績	<ul style="list-style-type: none"> ・営業部署ごとにモデルを構築していたが、半年に一度営業部署の再編や顧客の割り当てが変わる影響でその都度モデルのチューニング・インプットデータ変更への対応など運用負荷がかかっていたため、営業部署横断のアンサンブルモデルへの刷新を実施した。そのなかで、ETL処理の再設計、MLパイプラインの高度化に貢献した。 ・また、再設計のなかで最大26時間程かかっていた既存のETL処理に対し、EMRのパラメータチューニングおよびクエリの最適化を実施し、処理時間を最大6時間短縮することに貢献した。

2022/4-2022/9	3. 社内システム 購買データを用いた分析APIサービスの開発
■プロジェクト概要	<ul style="list-style-type: none"> ・分析APIサービス（サーバレス）の開発 ・家計簿アプリの購買データを用いて、競合トレンド把握や市場変化の原因を分析・レポートする機能をAPI提供する
■役割	インフラエンジニア
■参画フェーズ	PoC
■技術スタック	【クラウド】

	AWS (API Gateway/Lambda/Cognito/S3/SageMaker/DynamoDB/StepFunctions/EventBridge) 【その他】 Tableau
■システム規模	【環境】 3 面 (Production/Staging/Develop) 【構成要素】 技術スタック記載のとおり
■プロジェクト規模	開発チーム：5名
■職務内容	【PoC】 ・アーキテクチャ全体のフィージビリティ確認 ・Cognitoを用いたマルチテナント向けAPIのRBACフィージビリティ確認 ・API Gateway (SageMaker/Lambdaエンドポイント) のデプロイ手法の選定 (Blue-Green/Canary/Linear) ・API GatewayとTableauの連携フィージビリティ確認
■実績	・Tableau各種 (Tableau Sever/Online) とAWSサービス各種の組み合わせをPros&Cons比較し、実機検証することでアーキテクチャの選定に貢献

2022/1-2022/3	4. 通信事業会社向け マイクロサービス開発基盤の構築
■プロジェクト概要	・モダンアプリケーションの開発を推進したいクライアントに対し、サービスメッシュアーキテクチャの導入支援を実施
■役割	インフラエンジニア
■参画フェーズ	PoC/基本設計
■技術スタック	【クラウド】 GCP (GKE/Anthos/ASM/GCR/GCS/CDN) 【その他】 K8s/Istio/Argo CD/Argo Rollouts/GitHub/GitHub Actions/Datadog/ServiceNow
■システム規模	【環境】 1面 (Development) 【構成要素】 技術スタック記載のとおり
■プロジェクト規模	開発チーム：4名
■職務内容	【PoC】 ・上記技術スタックを用いたアーキテクチャにおける、Canary/Blue-Green/Rolling Deploymentによるリリースのフィージビリティ検証 ・Cloud LoggingおよびDatadogの収集メトリクスを用いたCanaryリリースのフィージビリティ検証 ・上記技術スタックを用いたアーキテクチャにおけるCI・CDパイプラインのフィージビリティ検証 ・構築手順作成・IaC化
■実績	・職務内容記載のフィージビリティを全て担保した上で、スケジュールに遅延なく構築手順・IaCを作成した。

2021/4-2021/12	5. 通信事業会社向け ID管理システム開発
■プロジェクト概要	・プロセス自動化、システム構成簡素化を目的とした新規ID管理システム開発 ・社員ID管理システム・オフィス入退管理システム・PC管理システムなど複数存在している管理システムから、ID管理機能を統合することが目的 ・収容する社員IDは約30,000人
■役割	インフラエンジニア
■参画フェーズ	基本設計/詳細設計/構築/テスト
■技術スタック	【クラウド】 Azure (VM/NSG/LB/RSV/Blob/Files/ASR) (Azure はIaaSをメインで利用)

	<p>【OS】</p> <p>Windows Server 2019</p> <p>【MW/SW】</p> <p>AD/DNS/IIS/MS SQL Server/Crowd Strike/JP1/Zabbix/One Identity Manager（ID管理パッケージ）</p> <p>【その他】</p> <p>認証（SAML/OpenID Connect） / SFTP（OpenSSH）</p>
■システム規模	<p>【環境】 3面（Production/Training/Development）</p> <p>【構成要素】 機能ごと（AD/Web&App/Job/DB/Batch/Proxy）にVM6台（冗長化しているため実際は12台）</p>
■プロジェクト規模	<p>インフラ・アーキチーム/アプリチーム/移行チーム/運用チーム：22名</p> <p>（うちインフラ・アーキチーム4名）</p>
■職務内容	<p>フェーズごとに記載</p> <p>【基本設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ID管理パッケージの追加PoC（フィージビリティ確認、構築手順の確立） <p>（本来、要件定義フェーズに実施する予定であったが、スケジュール変更に伴い基本設計フェーズ内で並行実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証/認可アーキテクチャ設計 ・ジョブ実行アーキテクチャ設計 ・データベース設計 <p>【詳細設計】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Azure/ID管理パッケージのパラメータ設計 <p>【構築】</p> <p>技術スタック全ての構築を担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Azure/Windows Server/ AD/DNS/IIS/MS SQL Server/Crowd Strike/JP1/Zabbix/One Identity Manager（ID管理パッケージ） /SFTP ・powershellでの運用スクリプト作成（ログローテ/アーカイブ/パージ/LB開閉局バックアップなど） <p>【テスト】</p> <p>技術スタック全てのインフラテストを担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Azure/Windows Server/ AD/DNS/IIS/MS SQL Server/Crowd Strike/JP1/Zabbix/One Identity Manager（ID管理パッケージ） /SFTP
■実績	<ul style="list-style-type: none"> ・社内導入事例が少なく英訳マニュアルしかないID管理パッケージに対して、追加PoC（フィージビリティ確認、構築手順の確立）を実施することで潜在的なリスクを減らすことに貢献 ・Training環境の構築およびテストにて、テスト観点を細部まで記載し厳しい判定の下で行ったことで、考慮できなかった事項を洗い出すことができ、最終的に同様の構成であるProduction環境の構築およびテスト作業をTraining環境時の50%の工数でかつ、バグがほぼ無いというテスト結果で実施

2020/2-2020/3		6. 通信事業会社向け VoC（Voice of customers）システム開発
■プロジェクト概要	<p>・コールセンタでの会話を自動集音/音声解析し、音声の要望に応える業務処理（スケジューリング/ToDoリマインドなど）を実施するシステム</p>	
■役割	インフラエンジニア	
■参画フェーズ	テスト	
■技術スタック	<p>【クラウド】</p> <p>AWS（EC2/SG/ACL/S3/RDS/Lambda/CloudWatch/CloudFormation）</p> <p>【OS】</p> <p>Linux</p> <p>【MW/SW】</p> <p>外部AIエンジン連携用アプリケーション</p>	
■システム規模	【環境】 3面（Production/Training/Development）	

	【構成要素】 プラットフォームのAWS括弧内参照
■プロジェクト規模	インフラ・アーキチーム4名
■職務内容	・インフラテストコンディション作成 ・テスト実施

2020/7-2021/1		7. 通信事業会社向け Flash用仮想デスクトップシステム開発
■プロジェクト概要	・2020年Flash EOLに伴い、Flashを利用している基幹システムがユーザから実行できなくなるリスクが発生 ・ユーザと基幹システム間に仮想デスクトップを介すことでFlashアプリケーションの動作環境を構築するプロジェクト	
■役割	インフラエンジニア	
■参画フェーズ	詳細設計/構築/テスト/リリース	
■技術スタック	【クラウド】 プライベートクラウド（OpenStackベース） 【OS】 Windows Server 2016/Windows10 【MW/SW】 AD/DNS/IIS/WSFC/Always On/DFS/RDS/MS SQL Server/Zabbix	
■システム規模	【環境】 2（Production/Development） 【構成要素】 VM20台（ADサーバ2台/Remote Desktop Service(RDS)管理サーバ2台/DBサーバ2台/セッションホストサーバ12台/ファイルサーバ2台）	
■プロジェクト規模	インフラ・アーキチーム4名	
■職務内容	フェーズごとに記載 【詳細設計】 IISパラメータ/Zabbix/バックアップリストアパラメータ設計 【構築】 Windows Server/AD/DNS/IIS/Zabbixの構築 運用マニュアルの作成 【テスト】 単体テスト、結合テスト、システム間テスト、総合テストの実施 【定着化支援】 ・運用マニュアルの追加/改修 ・監視項目の改修	

経歴② 2018/4-2020/6 株式会社日立製作所 正社員

【事業内容】 電気機器・鉄道・IT

【売上高】 8兆7000億円

【従業員数】 33,000名

【部署】 金融システム事業部

【担当プロジェクト】

- ・クレジットカード会社 クレジットカード決済システム開発（2018/10-2020/06）
- ・クレジットカード会社 クレジットカード入会審査システム開発（2019/08-2019/11）
- ・クレジットカード会社 電子マネーシステム開発（2019/04-2020/04）

■スキルサマリ

※習熟度について

- 1/Beginner : 基礎知識を有し指示のもと標準的な設計/構築ができる
 2/Intermediate : 基礎知識に加えて一定の経験を有し指示のもと標準的な設計/構築ができる
 3/Advanced : 自力で標準的な設計/構築ができる
 4/Expert : 自力で標準的な設計/構築ができ、他者を牽引できる

Lv1	Lv2	Lv3	習熟度
Infrastructure	PublicCloud	AWS	4
		Azure	3
		GCP	3
	PrivateCloud	OpenStack	2
	On-premise		3
	IaC	AWS Cloudformation	3
		Terraform	3
Virtualization	VMWare		3
OS	Windows		4
	Linux		4
Container	Docker		4
	Kubernetes		4
	Amazon ECS/EKS		4
	GCP Service Mesh/Istio		3
Web	React		1
	Next.js		1
	Flask		1
DB	SQLServer		2
	PostgreSQL		3
	MySQL		3
	Amazon RDS		4
	Amazon Aurora		4
	Amazon DynamoDB		1
Analytics	Amazon Athena		2
	GCP BigQuery		2
	Tableau		2
ETL	Amazon EMR		4
	Hadoop/Spark		4
AI/ML	Amazon SageMaker		3
	MLflow		3
GenAI	Langchain		3
	Amazon Bedrock		3
	Azure OpenAI Service		3
	Azure AI Search		3
	GCP Vertex AI		1

	Retrieve	Amazon Opensearch	3
		Amazon Kendra	3
CI/CD	AWS CodeCommit/Pipeline/Build/Deploy		4
	Argo CD/Rollouts		2
	GitLab/GitHub		4
Job/Workflow	JP1 AJS3		2
	AWS Step Functions		3
	Airflow		4
Monitoring	JP1 IM/PFM/etc		2
	Zabbix		2
	Prometheus		3
	Datadog		3
	Amazon Cloudwatch		4
Network/Security/Auth /Other Non-func Component	Amazon VPC/SG/ALB/ASG/etc		4
	AD(AAD/On-premise)		3
	DNS		3
	SSO(SAML/OIDC)		3
	AWS Cognito		3
Language	Python		3
	JavaScript/TypeScript		1
	PowerShell		3
Others	DevOps	MLOps	4
		LLMOps	2

■語学資格

- ・TOEIC：815点（2020/12）

■IT資格

- ・AWS Certified DevOps Engineer - Professional（2024/07）
- ・AWS Certified Developer – Associate（2022/05）
- ・Microsoft Certified Azure Administrator Associate（2021/10）
- ・AWS Certified Solutions Architect – Professional（2021/07）
- ・AWS Certified Solutions Architect – Associate（2020/01）
- ・応用情報処理技術者（2018/12）

■自己PR

- ・知的好奇心が強く「新しい技術を学ぶこと、それらを社会にどのように適用させるか検討すること」が好きです。最近、LLMシステム・生成AIアプリケーションの開発/運用の困難さに直面したため、LLMOpsやモデル/プロンプト/RAG管理に興味があり日々勉強しています。
- ・数年前までは技術を強みにしたスペシャリストをロールモデルとして描いていましたが、直近のリード/サブリード経験を通じて、技術を有しつつ様々な領域の方と適切な表現を用いて意思疎通が図れるジェネラリストこそ、アジリティの求められる現代のIT開発において最も重要な人材と考えており、そういったエンジニアになりたいと思っています。
- ・筋トレ/音楽が好きです。

以上